

こんにちは

会社訪問記

古紙を通して

地球の環境保全に貢献。

株式会社フクダ (名古屋市南区)

日本最大規模を誇る古紙の商社『福田三商』の関連会社、株式会社フクダ。福田三商グループの中において、印刷会社、製本会社より発生する、上質古紙を回収することを目的として設立され、地球の環境保全に少しでも貢献したいと努力されている。事業内容を福田三商の山本課長にお伺いしました。

——まず、事業内容を教えていただけませんか。

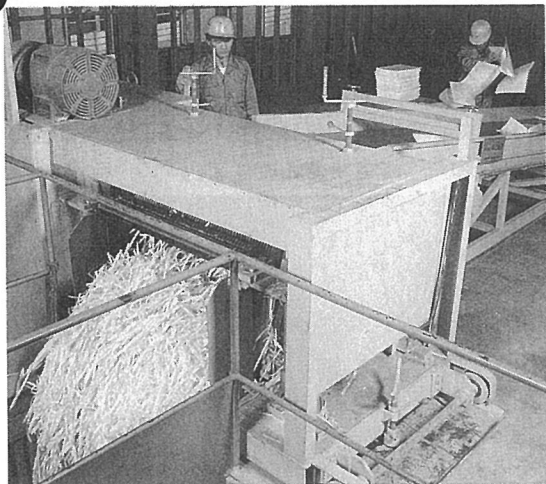
『上質古紙の仕入及び販売、機密書類の処理を始めてとして福田三商から出る廃棄物の処理。それから廃棄物とは違いますが、損害保険・生命保険の代理店業務などを行っています。』

——現在、従業員は何名いらっしゃいますか。

『役員を除くと22名です。』

——事業方針で特に気をつけていることを教えてくださいませんか。

『これは廃棄物処理とは少し離れますが、古紙の販売にあたり、その品質保持に非常に気を配っているという点でしょうね。古紙はある面でゴミであるという考え方が存在します。ですから、見



機密書類処理装置



社名/株式会社フクダ 所在地/名古屋市南区千竈通り2丁目16番地の2
代表者/福田 栄 設立/昭和54年 従業員/22名
TEL/052(822)8911 保有車両/2台 リフト/2台
営業種別/収集・運搬
取扱い品目/燃えがら、廃プラスチック、金属くず、ガラスくず等、建設廃材

方によっては古紙のなかに何が入っていても別にかまわないのではないかと、という感覚がまだ一般的にあるのです。しかし、私たちがそれを業として行う以上、常に良い品質の古紙をメーカーへ大量に納入する義務があると思うのです。これは、株式会社フクダのみならず、福田三商グループの統一された精神になっています。』

——機密書類の処理とは、どんなことをやられているのですか。

『最近、企業のなかでOA古紙の発生が非常に増えています。なかでも官公庁、銀行、一般会社から大量にまとまって出る機密を要する廃棄書類の、シュレッダー処理のニーズが高いですね。いままで機密書類は、処理したくても長期保管が義務づけられていたり、外部への持ち出しが禁止されていたため、なかなか処理できなかった。処理方法も焼却処分するしかなかったわけです。しかし、これも秘密保持をしっかりと施せばリサイクル資材になる。ただ従来のシュレッダーでは、処理能力が排出量においつかない。そこで当社が開発したのが、コンベヤーと大型シュレッダーを組合わせた機密書類処理装置。短時間に大量処理ができ、機密が保持できるので、だんだんニーズが高まっています。大手百貨店、大手スーパーの商品券から保管期限の切れたコンピュータ関連書類などの廃棄処理を現在行っています。』

——では、最後に休日体制のことを教えていただけませんか。

『基本的には日曜日、祝祭日ですね。ただ、やむをえず休日出勤をする場合もあります。』

これからも廃棄物の増加に対して、臨機応変に対処していきたいと語ってくれた山本課長。これからもがんばってください。